



## けがをせず、安全に登校にするために！

### ～全校児童で考え、話し合った「学校保健委員会」～

この1学期は登校中にケガをしたり、危ない場面にあたりたりした人たちがいました。そこで、7月10日（月）に、保健委員会（住野未夢委員長）と担当の佐藤恵美加先生の企画・準備・運営で「ケガを予防しよう～安全に学校に来るためにはどうしたらいいか考えよう～」をテーマに、学校保健委員会を開催しました。

学校保健委員会では、登校中の子どもたちが「ケガをせず、安全に登下校する」ためにどのようにしたらよいかを一人一人が考え、目標を決めました。子どもたちが「言われたことを守る」のではなく、「自分たち自身で考え、目標を決めて守る」ようになるために事前に班登校について全児童にアンケートをとり、次のような取組をしました。

- ① アンケート結果をもとに各クラスで話し合い、班登校の目標を考え、決める。
- ② 各クラスで決めた目標を登校班で発表する。
- ③ 各クラスで決めた目標を全体の場で発表し確認する。

各クラスでは、自分たちの学年でできる事を考えた目標を話し合いました。目標では、上級生から「班長と副班長が協力する」「やさしく声掛けをする」「下級生の歩くペースに合わせる」「こまめに後ろを見る」などが出て、下級生から「班長・副班長の言うことを聞く」「一列で歩く」「ふざけない」などが出ました。各学年の目標など詳しいことは、明日発行予定の「保健だより」をご覧ください。

これからは、自分たちでは考え話し合い、自分たち自身で決めた目標をしっかり守って、ケガなく安全に登校できることと思います。班長・副班長さんよろしくお願ひします。保護者・地域の皆様もご指導・見守りをよろしくお願ひいたします。



各学年で考える



登校班で発表



全体での確認

## 授業参観・学級懇談会ありがとうございました

7月7日（金）の授業参観・学級懇談会に、たくさんの保護者の方々に来ていただきありがとうございました。子どもたちの様子はいかがだったでしょうか？保護者の方々に来ていただき、子どもたちはうれしかったことと思います。学級懇談会では、学校や家庭での様子についてお話しいただき、夏休みの暮らしについてなどの連絡をしました。

昨年度までとは違い、今年度は授業参観・学級懇談も制限なしで実施する予定です。今後の授業参観・学級懇談への保護者の皆様の御来校をお待ちしています。

# 頑張りました！「花壇コンクール」

環境委員会（中島星輝委員長）と佐藤治樹先生の企画・準備・運営で、第1回花壇コンクールが7月10～14日に行われ、子どもたちと先生たち全員で審査をしました。私もとても悩むほど、どの学年の花壇もきれいに整備されていました。また、1年生の朝顔や2年生のミニトマト、なかよし菜園の野菜たちも育っていて花壇を彩っていました。

**優勝は6年生**でしたが、毎朝たくさんの人たちが草取りをするなど、どの学年もとてもよく頑張っていたことが一番うれしかった花壇コンクールでした。ありがとうございました！

また、草取りや水やりを特に頑張った人が、ボランティア大賞として各学年で投票によって選ばれました。1年高木尊琉さん、2年後藤琉南さん、3年千葉結衣さん、4年村上菜々子さん、5年深耕柚希さん、6年中島星輝さんです。おめでとう！これからも頑張ってください！



## 5年生が4年生に集団宿泊の活動をプレゼン

7月5日、先日実施した集団宿泊について、5年生から4年生に一つ一つの活動内容や頑張ったこと、楽しかったこと、大変だったことなどを、班別にプレゼンを作成して話をしました。

来年度に集団宿泊を行う4年生は、5年生の話をしっかりと聞いていました。来年度はきっと充実した集団宿泊になることと思います。5年生のみなさんありがとう！

## 子どもたちの成長のために、私たちができる事！

### ～「見守る」「褒める」「考え・行動できる言葉かけ」を通して～

小学校時代は経験が少なく失敗が多いのが当たり前です。しかし、だからこそ失敗や成功の経験を積み重ね大きく成長できるのも小学校時代です。「失敗できるのは子どもの権利である」という言葉もあります。失敗しないように大人が先回りするのではなく、子どもが失敗を繰り返し成長し自立できるようにする。そして成功や失敗した時に「自分でできたね、すごいね」「頑張ったね、えらいね」などと褒めることで、結果ではなく行動そのものの成功体験となり成長につながります。子どもが自分で考え行動する時、新たなことに挑戦する時には、じっくり見守り、結果ではなく行動そのものを褒めることが私たち大人ができることです。

人との付き合い方を学ぶのも同じです。経験が少ないので友達とのトラブルがあること、上手に解決できないことも当然です。しかし、そのトラブルを自分で乗り越えること、相手を理解し仲直りする経験を積み重ねることが、人との付き合い方を学び成長することにつながります。トラブルがあった時は、悩む子どもに寄り添い「なぜそうなったのか」「どうすればよかったのか」と言葉をかけ、子どもが自分で考え行動できるようにすることが、私たち大人ができることです。

山東小の先生方は、子どもたちの成長のために、真剣に子どもと向きあい、じっくり話を聴いて支援しています。子どもたちが成長し自立できますよう、家庭と学校が一体となって支援していけますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。